

暑い中、生徒の皆さんがきちんとした聴く態度で整列している姿を今、こうして壇上から見つめています。実に立派ですね。さすが西中生です。学校がどんどん良くなっています。3年生の皆さん、受験という目的に向かって勉強に向き合った初めての夏休みはいかがでしたか。今までと違った夏休みを過ごしたことでしょう。2年生の皆さん、3年生がいない初めての夏休みの部活動はいかがでしたか。きっと3年生の有り難さを感じたはずです。しかし随分2年生も逞しく成長しましたね。そして1年生の皆さん、初めての中学生の夏休みはいかがでしたか。小学校の時の夏休みとは全く違っていたでしょう。これが中学生になったということです。思い出深い夏休みも終わり、今日からいよいよ2学期です。こうして皆さんと今日無事に会えたことに感謝しています。大きな事故やけがもなくこの夏休みを充実して過ごせた君たちは本当に立派でした。

さてこの夏休み、どんな話題に感動しましたか。甲子園での金足農業の活躍でしょうか。私は尾畠春夫さんの姿に感動しました。皆さんも知っていると思いますが、尾畠さんは行方不明だった山口県周防大島町の2歳の藤本理稀ちゃんを発見した方です。ちょっと尾畠さんのことを調べてみました。尾畠さんをスーパーボランティアと名付けたマスコミもありますが、その言葉以上に素晴らしい方でした。尾畠さんは現在78歳です。65歳まで魚屋さんを営み、その後はボランティア活動に人生を捧げています。東日本大震災や広島・岡山の豪雨災害にもボランティアとして参加しています。一切、見返りを求めないボランティア一筋の生活に全身全霊を捧げる尾畠さんのことを一部では「変人」「変わり者」と批判する人も残念ながらいます。しかしそう批判する人が尾畠さんのような行動ができるかと問えば、間違いなくできないでしょう。自分はしないできないのに、できる人を批判することはフェアではないと思いますが、私も絶対に尾畠さんのような行動はできません。見ず知らずの子どもを助けにわざわざ他県まで行こうとは思いません。尾畠さんがなぜそのような言動ができるのかは分かりませんが、きっと自らの体験や経験がそうさせるのだと思っています。現代の世の中にこのように人や社会のために全身全霊で行動できる尾畠さんのような人がいることが本当に素晴らしいです。心から感動しました。

私も今まで皆さんに”人の役に立つ人になろう”と話してきました。その究極の姿が今回の尾畠さんだと思います、しかし尾畠さんのように誰もできません。しかし皆さんには身近なところで人の役に立つことはできます。人が困ったり悩んだりした時に温かな声をかけることもそうです。人が喜んだり悲しんだりしている時に一緒に喜びそして悲しむ事もそうです。一人で寂しそうにしている人を仲間に入れてあげることもそうです。こうした行為行動は、立派な人の役に立つ行為です。人は誰一人として一人では生きていけないから、互いに助け合わねばならないのです。自分が幸せになりたければ人を幸せにすることです。も

う一度言います。自分が幸せになりたければ人を幸せにすることです。人を不幸せにして自分だけ幸せになろうとしても無理な話です。人は他人にした様に他人からされます。これがこの世の常です。だから人の悪口を言ったり、人をいじめたりしてはいけません。その行為や心の在り方は必ず自分に返ってくるからです。2学期は、様々な行事や活動があります。仲間や学級や学校のために役に立てる人が増えれば、必ずその学級や学年そして学校は良くなります。そんな場面がこの2学期にたくさん見られることを期待して、2学期始業式の式辞と致します。

平成30年8月27日（月）

校長 山崎 祐一